

△議題6 省エネルギー対策への市会の対応について

◆(加納委員) 夏の節電ということで、国も前倒しをし、さらには延長もしているというこういう昨今の中で、民間もそういう流れになっています。そういった意味では、やはり私ども横浜市会としても、先陣を切ってクールビズでいくべきだという部分もあるので、古川委員のおっしゃったことは、私どもも賛成です。

ただ、一方で、3回の本会議においてはネクタイは着用しようというような、今、御提案もありましたので、これについて非常に、さてどうしたものかなと私自身もちょっと悩んでいたんですけども、改選という中で新たに当選をして、初めて本会議場に入ることからすると、ネクタイをして、きちっとした正装でというような思いがあるでしょうから、これも確かに本会議場でネクタイを着用するというのもあるのかなと。

それから、第2日目の本会議終了後、たしか写真撮影がありますので、そういった部分では、ネクタイを着用していたほうがというような御意見もありますので、そういうことからすると前倒しでクールビズ、これはいいと思いますし、一方で3回の本会議場でネクタイはということについて、ちょっと私自身、違和感もあったんですけども、よく考えてみますと今のような状況からするとネクタイを3回着用しても本会議場であればいいのかなと、こういうふうにも考えます。そういった意味では、古川委員の提案については、私どもとしては賛成させていただきたい。こんなことで意見として申し上げます。

△議題7 その他

◆(加納委員) それでは、私のほうから。実は、議会基本条例の制定を目指して、できましたら協議の場を設定していただきたいという御提案でございます。

たしか、平成19年だったと思いますけれども、当時の藤代議長から、当時の佐藤祐文市会運営委員会委員長あてに、諮問が出ておりますし、その前にこれはたしか共産党からも同じ趣旨でお話がありました。さらに、ネット、市民の党、それから無所属クラブのほうからも、議会改革についてしっかりと進めるべきではないかという趣旨の御提案というか、これは申し入れ等ですね、ございましたし、そういったようなことを受けて、この1月28日には市会運営委員会で議会基本条例の制定等について、全会一致で改選後の新たな議会構成において協議することを決定しておりますし、また、それを受ける形で2月18日の予算議会で私ども仁田団長のほうから代表して、このことについてもさらに御提案をさせていただき、その後、3月18日に自民党、民主党、そして私ども公明党、3党派で議会改革の推進に関する声明を出させていただいて、何とかこの議会基本条例の制定を目指して、委員会を設置する、いわゆる協議の場を設置していただきたいといったような趣旨の声明も発表させていただきました。できましたら、改選の終わった後のこの議会の中で、議会基本条例の制定ということについて、しっかりと協議をしていただく、そういった場を設置していただけないかということについての御提案をさせていただきますけれども、いかがでしょうか。